

令和5年度12月補正予算 記者発表

石川県

令和5年11月22日

電気・LPガス料金の負担軽減



- 国は支援水準を1/2に縮減したうえで、来年5月末まで延長（5月は支援の幅を縮小）
- 国の支援措置対象外の「LPガス」および「特別高圧電力」、「高圧電力」のうち、繊維産業など電気使用量の多い事業者への支援について、9月までとしていた支援を、国と同様に、来年5月まで延長

区分	県支援額		備考
	6月補正(～9月分)	12月補正(10月分～)	
高圧	最大 1.8円 /kwh ※9月分は0.9円/kwh (最大100万円)	最大 0.9円 /kwh ※5月分は国の水準に合わせて減額 (最大50万円)	売上高に占める電気代が7%以上または3.5%以上7%未満の事業者が対象
特別高圧	2.0円 /kwh ※9月分は1.0円/kwh	1.0円 /kwh ※5月分は国の水準に合わせて減額	
LPガス（工業用）	12.0円 /m ³ ※9月分は6.0円/m ³	6.0円 /m ² ※5月分は国の水準に合わせて減額	
LPガス（一般）	2,300円 /件 ※定額	1,000円 /件 ※定額	【6月補正】 ・R5.1月～9月(9ヵ月分)を支援 【12月補正】 ・R5.10月～R6.5月(8ヵ月分)を支援

医療・福祉施設等への支援

- 収入が公定価格となっており、物価上昇の影響を価格転嫁できない医療機関、福祉施設、公衆浴場に対し、**支援金を追加支給**

施設の類型に応じた支援金の支給

施設類型区分		支援金の単価		備考
		6月補正	12月補正	
医療	病院、有床診療所	3万円 ／病床 ※特別高圧の病院は電力使用量に応じた金額	2.2万円 ／病床 ※特別高圧の病院は電力使用量に応じた金額	【6月補正】 ・1～9月(9ヵ月分)を支援 【12月補正】 ・10～3月(6ヵ月分)を支援
	無床診療所、助産所	10万円 ／施設	7万円 ／施設	
	薬局、施術所	5万円 ／施設	3.5万円 ／施設	
福祉	高齢者・障害者・子ども関連の入所施設	1.5万円 ／定員	1万円 ／定員	
	高齢者・障害者の通所施設	10万円 ／施設	7万円 ／施設	
	高齢者・障害者の訪問事業所	5万円 ／施設	3.5万円 ／施設	
	保育所	10万円 ／施設	7万円 ／施設	
	放課後児童クラブ	3万円 ／施設	2万円 ／施設	
他	普通公衆浴場	20万円 ／施設	20万円 ／施設	【6月補正】 ・4～9月(6ヵ月分)を支援 【12月補正】 ・10～3月(6ヵ月分)を支援

いしかわ省エネ家電購入応援キャンペーンの実施



○ 家庭の電気料高騰対策や省エネ推進に向けて省エネ家電の購入を支援

対象製品	キャッシュレスポイント額
エアコン	1万円～2万円
冷蔵庫	5千円～2万円
テレビ	5千円～1万円
LED照明器具	2千円/基
エコキュート等	4万円



省エネ性能
★★★★☆ 4.6

省エネ基準達成率 100% エネルギー消費効率 3.5

メーカー名 | 機種名

この製品を1年毎使用した場合の省エネ電気料金
31,900円

目安電気料金は東京・大阪の気候条件を前提に4人家族を想定した1年間の電力消費量約1,285Whに東京・大阪で電気料金徴収を要する場合は平均的な電気料金率約29円/kWhを乗じて算出しております。消費電力や使用条件、電気料金率により異なります。使用開始の準備段階に電算し、省エネ性能の目安もご覧ください。

使用する地域や世帯人数により※による変動及び目安電気料金は異なりますので、右記のQRコードからご確認ください。

エネルギー：電気

EW4-R0305



エコキュート
目標年度2025年度
出典：「省エネ型製品情報サイト」

想定を上回る申請状況

11月15日現在の利用状況：約84% ※年内で終了するペース

より多くの方にご利用いただけるよう、**3月末までキャンペーンを延長**

7月の大雨災害からの復旧

○ 7月の大雨で被災した津幡川、能瀬川において、**復旧工事と一体となった改良工事を**実施し、被災のなかった区間も含む一連区間の機能強化を図る

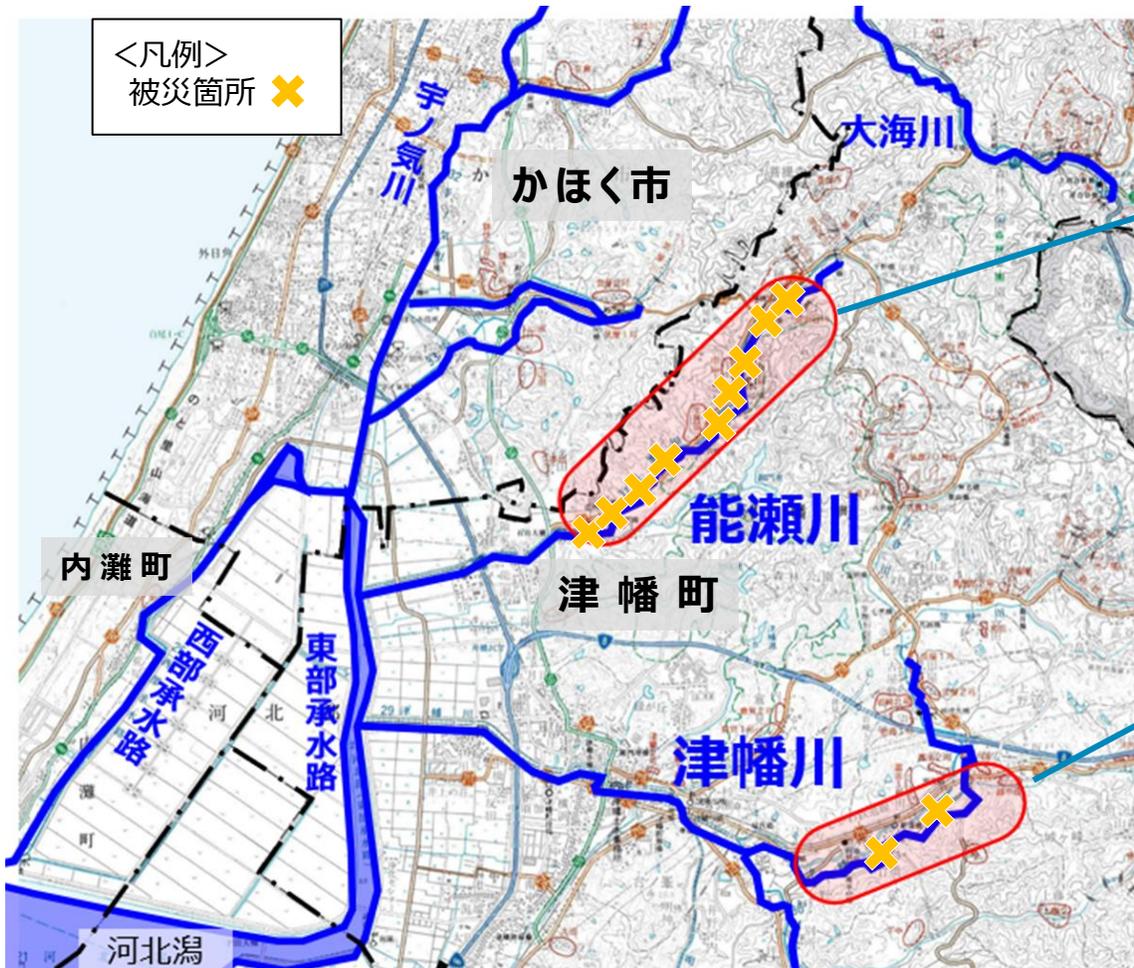
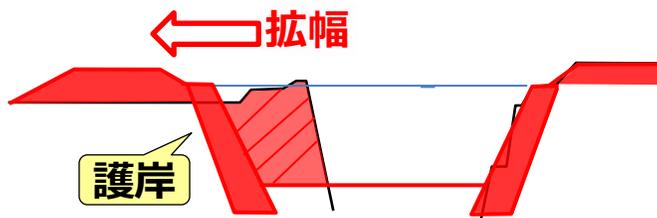
災害復旧工事（9月補正）

順次工事に着手し、順調に復旧作業が進捗

災害関連工事（12月補正）

復旧と一体となった河道の拡幅・掘削などの改良工事

改良イメージ



<能瀬川>

・河道拡幅、掘削等



(津幡町種)

<津幡川>

・河道拡幅、掘削等



(津幡町竹橋)

クマ被害の防止に向けた緊急対策

- 全国では、クマによる人身被害が過去最悪のペースで発生
- 冬眠期に入るものの、**早い時期（3月頃）からのクマの活動に備え、緊急対策を講じる**

県内では、2件の人身被害が発生し、「**ツキノワグマ出没警戒情報**」を発令

⇒ 県民への注意喚起、市町と連携しパトロール等の対策を強化



冬眠明けに備え、**早め早めの警戒と対策が必要**

緊急対策

- **市街地出没を想定した実地訓練の実施**

関係機関と連携し、発見から捕獲までの対応手順を確認

- **出没傾向・エリア等の分析・マップ化**

出没の多いエリアやその周辺環境を分析・マップ化し、県民への注意喚起や市町の対策強化に活用

2~3月頃に
加賀・能登・金沢
の各地で実施予定



- 目標搭乗率の達成が極めて厳しい状況を踏まえて、首都圏からの誘客を一層促進するとともに、地元とも連携し、**目標搭乗率62%の達成を目指す**

【能登・羽田便の現状】

21年目（R5.7.7～R6.7.6） 10月末時点の**搭乗率：59.9%**
(コロナ禍を除き過去最低)

【利用促進に向けた緊急会議開催(11/15)】

県・市町、経済団体が一丸となって、目標搭乗率の達成に向け、より一層の利用促進に取り組む

首都圏

能登ならではの観光素材を組み込んだ旅行商品の広報を強化し、需要を喚起

地元

地元発の羽田乗継を活用した旅行商品の造成を支援し、地元利用の掘り起こしを図る

○ **北陸新幹線敦賀延伸との相乗効果を発揮**して、小松空港国際線の利用を促進

上海便

1 2月17日から週2便で運航再開（木・日）

- ・ 運航ダイヤ 上海浦東空港発 9:30 → 小松空港着 12:35
小松空港発 13:30 → 上海浦東空港着 15:35
- ・ 運航機材 エアバス319（座席数：119席）、エアバス320（座席数：155席）

ソウル便

1 2月28日から週3便で運航再開（火・木・土）

- 本年4月から運航を再開した台北便のみならず、上海便・ソウル便も含めて、アウトバウンド利用のさらなる促進を図っていくことが必要
- 来年3月16日の北陸新幹線敦賀延伸により、**小松空港の利用圏が拡大**

北陸新幹線敦賀延伸により小松空港までの所要時間が短縮され、羽田や成田など主要な空港に比べて、時間距離が短くなる優位性を活かし、**長野県からの広域利用を促進**